

平成29年8月吉日
大会名誉会長 下村博文
大会会長 茂野直久
大会実行委員長 萩原 実

平成29年度 日本拳法・全日本体重別選手権大会 開催のご案内

謹啓

残暑の候、貴団体・貴競技連盟、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。日頃は大変お世話になり、日本拳法界斯道発展のため、ご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年6月には日本体育協会加盟に向けての第一歩となる合同大会を無事開催することができました。その後、競技に特化した組織を設立すべく、今年2月23日に「一般社団法人日本拳法競技連盟」を設立・登記を完了いたしました。本年も競技連盟が主催となる題記大会の開催を致したく、皆様方にご案内申し上げる次第であります。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

大会名称：平成29年度 日本拳法・全日本体重別選手権大会

主催：一般社団法人 日本拳法競技連盟

後援：(一財)日本拳法全国連盟、NPO)日本拳法協会、日本拳法東北連盟、(一社)全自衛隊拳法連盟

開催日時：平成29年10月28日(土) 10:30開会(9時半開場)

会場：東京武道館 大武道場

会場住所：東京都足立区綾瀬3-20-1 電話03-5697-2111 綾瀬駅[東出口]から徒歩約5分

出場資格：成年男子(18歳以上)

上記主催団体の加盟団体所属会員

上記趣旨に賛同する団体所属会員

体重別：4階級

1：有段軽量級(66kg以下の部)

2：有段軽中量級(66kg超73kg未満の部)

3：有段中量級(73kg超81kg未満の部)

4：有段重量級(81kg超の部)

参加申込：別紙<申込書と納金書>を下記連絡先まで郵送もしくはメールにてお送りください。

申込締切日：平成29年9月25日(月)必着

駐車場：駐車場は台数に限りがあるので、できるだけ公共交通機関でお越しください。

連絡先：〒422-8034 静岡市駿河区高松2-8-18 クレパール101号 萩原 実

電話090-9264-7316 FAX 054-269-5776 Eメール：nkempou@rx.tnc.ne.jp

以上

平成29年度 日本拳法・全日本体重別選手権大会

納 金 書

提出日 年 月 日

団 体 名 _____
代 表 者 _____

◎出場料を下記のとおり納金します。

出場費 5,000円× 名 = _____ 円

◎協賛金を下記のとおり納金します。

A	3万円×	口 =	円
B	2万円×	口 =	円
C	1万円×	口 =	円
		合計	円

入金先口座名 ゆうちょ銀行（振込方法は別紙参加申し込みについてを参照してください。）

送金総額 _____ 円 送金予定日 年 月 日

9月25日迄に入金願います

平成29年度 日本拳法・全日本体重別選手権大会」参加申し込みについて

申込書:別紙にて9月25日(月)必着にてお願いいたします。

出場費:5千円

広告(全て A4版): 1/4サイズ` 1万円、1/2サイズ` 2万円、全面サイズ` 3万円

広告原稿は下記アドレスに送信して下さい。

Eメール:nkempou@rx.tnc.ne.jp (事務局 萩原)まで

振込先:

① ゆうちょ銀行の通帳をお持ちの方(手数料は無料です)

口座記号:12330

口座番号:49851421

口座名称:一般社団法人 日本拳法競技連盟

② 他金融機関からの振込みの場合(振込み手数料は自己負担でお願いします。)

ゆうちょ銀行

振込先支店名は頭文字は<ニ>を押してください。店名候補が出てきますので、
そこで 二三八(ニサンハチ)を押します。

店名:二三八(読み ニサンハチ)

店番:238

預金種目:普通預金

口座番号:4985142

口座名称:一般社団法人 日本拳法競技連盟

競技ルール:別紙 (東京都日本拳法競技ルールを元にしています。)

以 上

平成 29 年度 日本拳法・全日本体重別選手権大会 競技ルール

1. 競技場

- 1) マットは 1m 四方、厚さ 2cm のものを用い、一辺が 7m の正方形とし、畳の場合は一辺が四間 (7m20cm) の正方形とする。
- 2) 競技場の外側に 1m 以上の余地を設ける。
- 3) 競技場の境界は赤色のマット(畳)、白線等で明示する。
- 4) 中心より 1.5~2m の位置に紅白の開始線(長さ 50~80cm、幅 5cm 程度)を設ける。主審より見て右側が赤、左側を白とする。

2. 競技方法

- 1) 三本勝負法を採用する。
- 2) 競技時間は、3 分間、個人によるトーナメント戦とする。時間は正味時間とする。得点同数の場合は、一分間一本勝負の延長戦を行う。延長戦が引き分けの場合、延長時間内の内容による判定を行う。判定により勝敗を決する場合は次に示す順に決定する。
 - ① 警告の有無
 - ② 試合内容の優劣
 - ③ 技能
- 3) 但、優勝決定戦においては時間無制限一本勝負により決するものとする。

3. 服装・防具

- 1) 清潔で破れ等のない日本拳法道衣を装うこと。
- 2) 十分に整備された日本拳法の面、胴、股当、グローブを着装する。表胴の破れやテープ貼りは認めない。
- 3) 股当は、股間部に密着するよう緩みなく装着する。
- 4) タオルは白色無地のものを、防具外にはみ出ないように使用する。
- 5) 拳法シューズ、脚部サポーターの装着を認める。但、いずれも柔軟な素材であり、厚さは 5mm 以内のものを使用する。
- 6) 大会審判長が不適切と認めた場合、速やかに取り外し、付け直しを行うが、場合により失格とすることがある。

4. 得点

得点は以下の場合に認める。

- 1) 搏技が、防具装着部(面金部・外胴部)に的中し、決めと冴えがあり、残心が備わっていること。
- 2) 相手の受け手、あるいは手拳足に妨害されていないこと。あるいは受けの効果が薄弱な場合。
- 3) 連撃で相手を圧倒したとき。
- 4) 相手の蹴足を捉えて、股当部に空撃で蹴り返しの技形をとったとき。但、倒れた相手の股当部への攻撃は認めない。
- 5) 倒れた相手の面および胴に空撃もしくは軽打をもって正しい技形をとったとき。
- 6) 組打ちにおいて相手を制し、背面部位に対して空撃で正しい技形をとったとき。
- 7) 面部への蹴りは空撃もしくは軽打をもって正しい技形をとったとき。
- 8) 拳・腕・肩を捉え、関節逆技を施したとき。
- 9) 組打ちで、相手の腰を自分の胸の高さ以上に持ち上げ、制したとき。
- 10) 投げ技で相手を圧倒しはずみがついたとき。
- 11) 反則により相手が失点をしたとき(反則一本)。

5. 反則

以下の行為を反則とし、過失の程度により、警告、失点、失格の罰則を与える。

- 1) 両足が試合場より外に出たとき。但、境界線上の組打ちから両者が離れた場合は除く。
- 2) 組打ちからであっても一方的に体を引いて外に出ようとする事。
- 3) 相手を場外に押し出す事。
- 4) 防具の紐が解けたり、脱落したとき。
- 5) 所定の箇所(面金部・外胴部)以外に打撃技を施す事(寸止め・軽打ではなく強打すること)。
- 6) 倒れた相手の面部を強打すること。
- 7) 面部への蹴りで、面金部以外(肩、頸、後頭部)を強打すること。
- 8) 肩・腕・手首以外に関節逆技を施す事。
- 9) 体を預けて関節技を施す事。
- 10) 相手の防具を掴む事。
- 11) 不正な防具を使用すること。
- 12) 相手の体を持ち上げ、頭部から突き落とす事。
- 13) 時間を浪費すること。
- 14) その他彼我に対する危険行為、不正な行為。

6. 罰則

反則を犯した者に下記の罰則を与える。

- 1) 警告。警告は一回では勝敗を左右しない。但、延長戦判定の場合は判定の対象となる。警告は二回をもって失点となる。
- 2) 失点。失点の場合、反則一本を相手に与える。
- 3) 失格。反則二本負けとなる。
- 4) 棄権。本人の意思により試合を放棄したときは失格となる。

7. 負傷

- 1) 負傷が自らの動作、不注意による場合、本人または審判が試合継続困難とした場合、負傷者本人の二本負けとなる。
- 2) 負傷が相手の反則行為に起因し、本人または審判が試合継続困難とした場合、反則行為を行った者の二本負けとする。
- 3) 負傷者の包帯やテーピングは、事前に審判長に申告し、認められた場合に着装でき、その箇所での搏技も有効とする。
- 4) 負傷により勝ち残った者が、当日、以降の試合に出場することは認めない。

8. その他

- 1) 審判員の判定に対し何人も異議を申し立てることはできない。
- 2) 審判員は主審一名と副審二名で構成し、主審が試合を進行するが、判定に関しては同等の権限を有する。
- 3) 上記に定めのない事態が生じた場合は、審判長の判断を求め、これを決する。

以上

東京武道館ご利用に関する確認事項

1 来場時の留意事項について

(1) バスや自動車の駐車、騒音やゴミ捨てなどのマナーについて、近隣住民からの苦情が出ておりますので、参加者への周知をお願いいたします。

①バスや自動車の迷惑駐車 ②歩行時等のマナー

※大規模大会やバス送迎が有る場合は、「武道館前信号」や「玄関前広場入口」などに、係員を配置するなどのご協力をお願いいたします。

※公共交通機関でのご来場の周知をお願いいたします。

(2) 綾瀬駅の改札口付近は、狭いので駅で集合しないよう、周知をお願いします。

(3) 綾瀬駅からは、沿道住民への配慮と安全上から、東綾瀬公園内をお通りください。

2 救急対応について

傷病者が発生した際は、東京武道館事務室までご連絡ください。当館から救急要請をいたします（心肺停止など一刻を争う場合は、主催者[ご利用者]から直接救急要請いただき、その後、当館にお知らせください）。

・救急要請の際は、傷病者の以下の情報をお伝えください。

①「性別」、②「年齢（年代）」、③「意識の有無（頭を打っていないか）」

④「いつ・どこで・何をしていた・どの箇所を・どうしたか」、⑤「外傷の有無」

・東京武道館で救急隊の誘導は行います。主催者[ご利用者]にて動線確保をお願いします。

3 共用部分等での留意事項について

(1) 廊下や共用スペースを利用しての練習は、他のご利用者のご迷惑になりますので、お止めください。

(2) 館内では、キャリーバッグを引いて歩かれると床が傷つく恐れがあります。

また、館内は素足の方もおりますので、事故防止の観点からもキャリーバッグは床から上げてご移動いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

4 その他

(1) 置き引き対策として、貴重品はロッカーに入れるなど参加者に十分な周知をお願いします。 ※場内放送等により、繰り返しのご注意ください。

(2) 利用時間は、準備、競技（稽古・練習含む）、撤去を含めた時間となっております。大会やイベント等では、撤去に必要な時間も考量して、計画をお立てください。

利用終了の15分前を目途に清掃が入りますので、ご協力をお願いします。

大会主催者様
大会参加者等関係者様

東京武道館長

東京武道館への来場に関する注意事項について

大会等における東京武道館への来場につきまして、以下の事項をお守りいただきますよう、大会主催者並びに、大会参加者等関係者の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

バス・自動車での来場

※出来る限り、公共交通機関での来場をお願いします。

【共通】

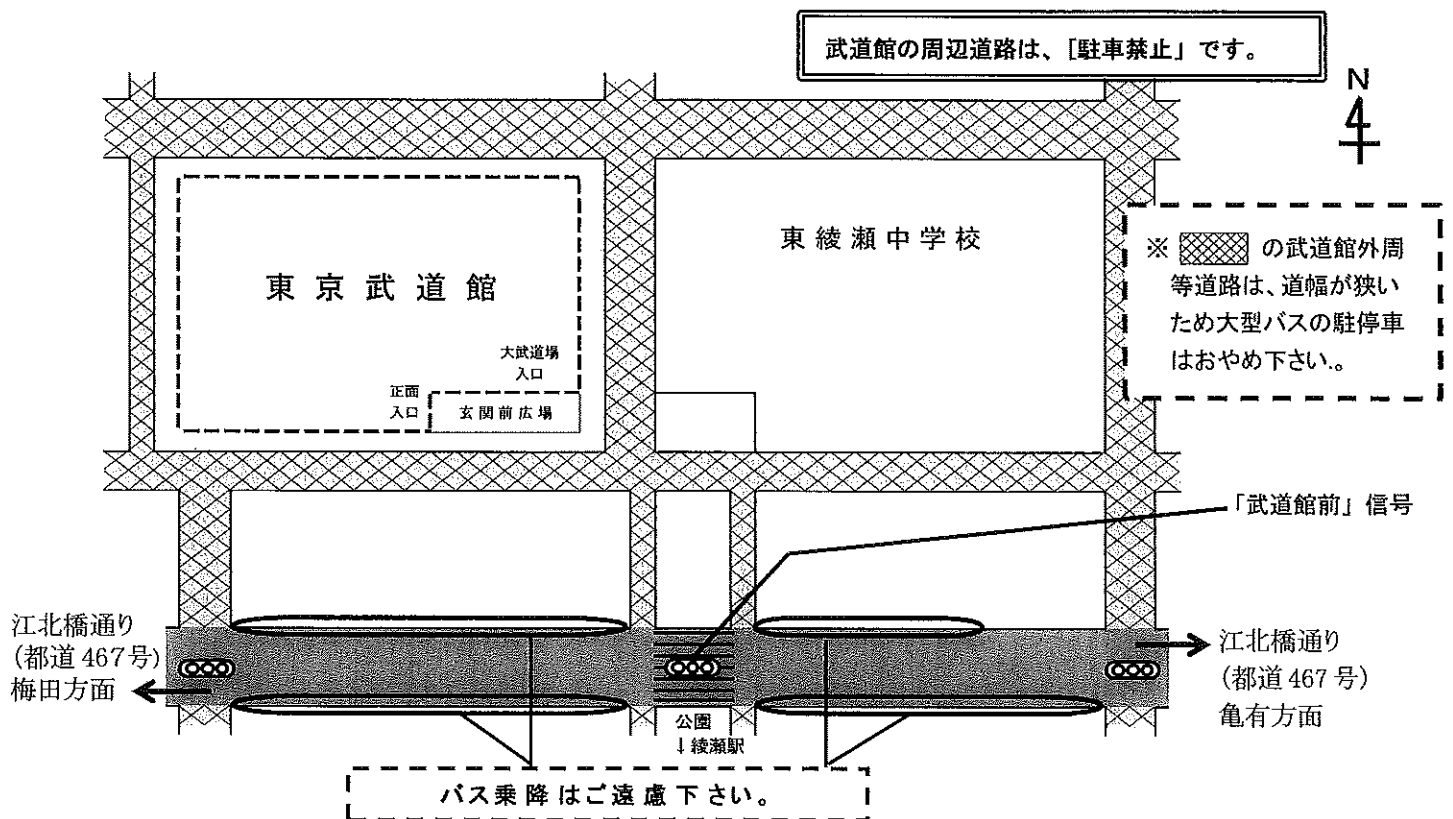
道路交通法を遵守してください。東京武道館周辺道路は駐車禁止です。駐車はご遠慮ください。

【バスについて】*大会参加者等の団体・道場での手配を含みます。

◆やむを得ずバスで来場される場合には、

江北橋通り（都道 467 号）「武道館前信号」付近でのバスの乗降はご遠慮ください。《下図参照》

◆道路での乗車待ち（バスの待機）はご遠慮ください。



歩行時等のマナー

※以下の事項はおやめください。

- ◆マンションなどの住宅敷地や駐車場への立ち入り
- ◆集団で横に広がった歩行
- ◆騒音（大声での会話・指示等）
- ◆道路等へのゴミ捨て
- ◆道路等での喫煙・ポイ捨て

《来館の際は東綾瀬公園をお通りください。また、綾瀬駅改札口付近での待合せはご遠慮ください。》

バスの乗降、車両の駐車、歩行時等のマナーについて、参加者等関係者へのご周知をお願いいたします。

会員各位

平成 29 年 8 月吉日
日本拳法連盟
理事長 横山 俊平
競技部長 松田 牧

「日本拳法・全日本体重別選手権」と併催競技の開催について

拝啓 残暑の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶びを申し上げます。

さて、来る 10 月 28 日(土)に、東京都武道館大武道場において、表記の通り、各種の大会が併催されることとなりました。ここに至る経緯・内容についてご説明をさせていただきます。

主大会となります「日本拳法・全日本体重別選手権」は、本年設立されました「一般社団法人日本拳法競技連盟(以下、「新競技連盟」)」による第一回目の大会となります。この全国区の「新競技連盟」は、私達日本拳法連盟が参画する日本拳法全国連盟、NPO 法人日本拳法協会、日本拳法東北連盟が参画し、日本体育協会への加盟を目指して、日本拳法の競技を統括する団体として設立されたものであり、一般社団法人全自衛隊拳法連盟も近々に参画を予定されています。

昨年の同時期に開催されました「日本拳法秋の祭典」は、競技種目で言いますと、一般男子体重別・高校生・一般女子の個人戦と東日本大学の新人戦が併催されておりました。中でも、一般男子体重別は、過去、国際選抜選手権もしくは東日本総合選手権として開催され、連盟発足当時よりの歴史ある大会であります。

しかしながら、「新競技連盟」が設立された今、昨年のように「全国合同選手権」を既存の大会とは別個にその主催大会として継続することは、大会スケジュールの過密を生み、出場する選手諸君の疲弊や過度な経済的負担も生みかねない、という危惧がありました。既存の組織の他に新たな組織が設立された場合、競技運営は合理的に見直され、必要に応じて統廃合されるべき、と私達は考えます。

そこで、今年度から、東日本総合選手権の一般男子体重別は発展的に解消し、「新競技連盟」が主催して、「平成 29 年度日本拳法・全日本体重別選手権」が開催される運びとなりました。今後、選手の皆様にはこちらの大会にご参加くださいますようお願いいたします。

一方、併催されていた「日本拳法東日本女子個人選手権」、「日本拳法東日本高等学校個人選手権」および「日本拳法東日本大学新人戦」の三部門については、引き続き日本拳法連盟の主催として開催をいたします。

当日の会場運営やタイムテーブルについては現在検討中ですので、概要が決まり次第ホームページ等でご案内をさせていただきます。

来年度以降は、開催時期や開催会場の更なる見直しを進め、会員の皆様のニーズにより近い展開を働き掛けていく所存ですので、何卒、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

敬具

会員各位

平成 29 年 8 月 吉日

日本拳法連盟

会 長 野坂 法雄

競技部長 松田 牧

日本拳法東日本女子個人選手権

日本拳法東日本高等学校個人選手権

日本拳法東日本大学新人戦

開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶びを申し上げます。

さて、表記三つの選手権を、「日本拳法・全日本体重別選手権」との併催で、下記の通り開催をさせていただきますので、ご案内を申し上げます。

当日は、体重別選手権を「一社 日本拳法競技連盟」が、表記の三つの選手権については「日本拳法連盟」が主催をいたします。二つの主催団体による併催となりますが、一致協力して大会の運営に支障無きよう努めますので、選手の皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

敬具

記

- 1) 日 時 平成 29 年 10 月 28 日(土) 午前 10 時 30 分開会(会場 9 時 30 分)
- 2) 会 場 東京都武道館 大武道場
東京都足立区綾瀬 3-20-1 千代田線「綾瀬駅」徒歩 5 分
電話 03-5687-2111
- 3) 競 技 女子(高校生・大学生・社会人)、男子高校生 2 分間三本勝負個人戦トーナメント
大学新人戦 2 分間三本勝負 5 人制対試合 団体戦トーナメント
※大学生一・二回生による団体戦。三段以上を有する選手は大学新人戦には出場できません。
- 4) 費 用 個人戦 3,000 円/人。新人戦 20,000 円/チーム
〈振り込み先〉 みずほ銀行渋谷支店(普通)2141047 日本拳法連盟
※振込人名の前にエントリー費を示す「E」と記号を入れて振り込みをお願いします。
- 5) 申込み エントリーリストは連盟ホームページよりダウンロードして下記へメールください。
日本拳法連盟事務局 entry@nipponkempo.jp
申込み締日 9 月 25 日(月)必着
※出場選手・チームと登録メンバーはエントリー時に確定します。締め後の修正は受け付けませんので、予めご了承ください。
- 6) ルール 日本拳法全国連盟競技ルールに則って行います。
- 7) その他 会場運営・タイムテーブル等については詳細が決まり次第ホームページにてご案内いたします。
- 8) 問合先 大会実行委員長 松田宛 電 話 090-5584-2339
メール makichienagoya@yahoo.co.jp

以上